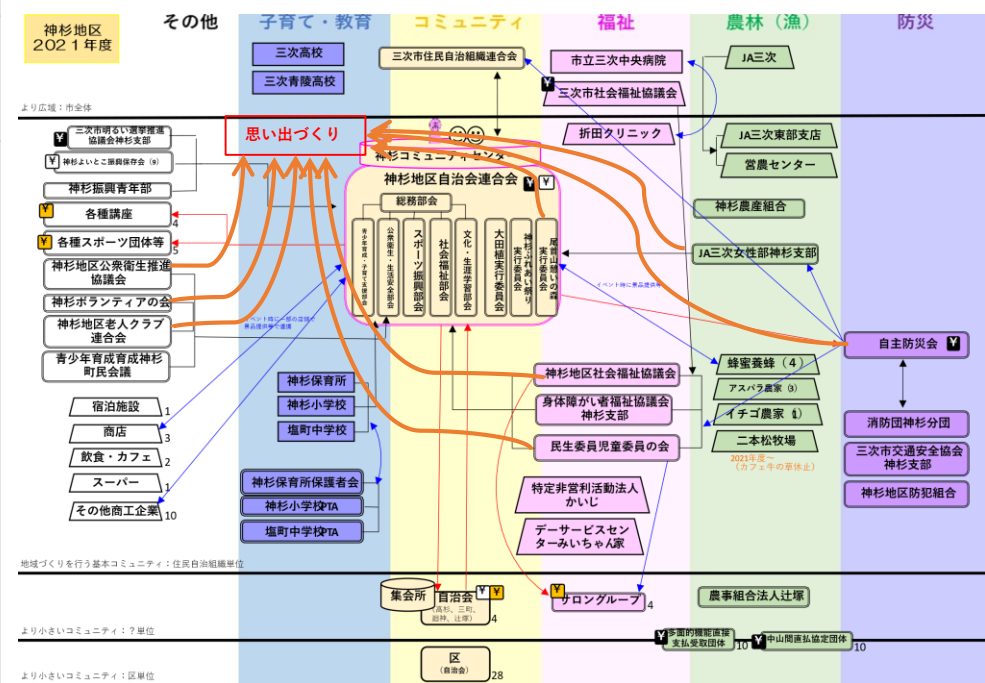


01 取り組み概要

実施主体	神杉地区自治会連合会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域に愛着を持ってほしい。 ● 地域の人々と関わり、交わりを深めてほしい。 ● 将来地域を支えてほしい。
内容	<p>神杉小学校、神杉保育所、神杉コミュニティセンターは、同一敷地内にあり、お互いの交流環境としては、比較的容易にできる状況にあります。</p> <p>そのような中、子どもたちの思い出づくりの交流を、年間20回程度行っています。</p> <p>特徴的には、夏休み前、水辺の教室と題して、芋面川の水質調査や、アユのつかみ取り。夏休みにはキッズチャレンジと称して、尾首山憩いの森実行委員会、老人クラブ、JAひろしま女性部神杉支部、自治連4団体の主催で、4回それぞれテーマをもって子どもたちと幅広く交流を行っています。</p> <p>地域の人たちと交流することで、楽しく『知る』、『学ぶ』、『体験する』を、今後も継続していくことで、児童の成長の一助となればと期待しています。同時に、それが地域の人々の元気の源となることも期待しています。</p>

02 取り組み体制



03 特徴・工夫

- 地域資源の豊かさを認識
 - ・芋面川の水質の状況や、尾首山を通じて自然環境のありがたさと維持管理の意識付け
- 年齢的、または男女問わず経験豊かな団体との交流
 - ・児童に対して多様性のある体験活動(学校では学べない事項)
- 企画力の向上
 - ・指導的立場の経験と企画力で健康維持

04 成果と課題

成果

- 子どもたちと地域住民の交流機会が多くなった
 - 他人の子どもも自分の子供 他人の孫も自分の孫 の感覚が充実
 - 子どもは地域の宝として実感

課題

- 持続・継続するためのやり方
 - 若い世代への引継ぎの模索。
- 発展性を含めた地域の魅力づくり
 - 興味を抱くもの、共感が得られるもの模索。

05 取り組みの様子



水辺の教室

毎年6月、小学校4年生を対象に芋面川河口付近で水中昆虫や魚をすく、標本と比較して水質の状態を確認しています。調査結果では『ややきれいな水』となっています。(協力:県環保協)



アユのつかみ取り

毎年7月、江の川漁業組合のご協力を得て、小学校4年生を対象にアユのつかみ取りを行っています。アユの素早い動きになかなかとずりますが、とったものはすぐ焼いていただきます。命のありがたさを感じながら



キッズチャレンジ(尾首山憩いの森)

夏休みに入って間もないころ、尾首山憩いの森でゲームや食事、遊具が設置してある広場での遊びなど、自然の中で楽しいひと時を過ごします。学年を問わず一緒にできることも楽しいようです。



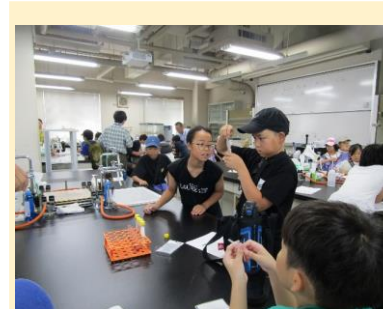
キッズチャレンジ(老人クラブ)

今年は何を行うか?頭をひねって昔の遊びや、竹など自然のものを加工した『ものづくり』など体験を行います。年配の方にも良い刺激があり、健康維持に貢献しているのかもしれない。



キッズチャレンジ(JA女性部)

食をつくりながら大切なことを一緒に考える食育や、身の回りにある容器を使って野菜を育てるなど様々なことに挑戦しています。



キッズチャレンジ(神自連)

夏休み最後のキッズチャレンジ。今年は広島県立大学庄原キャンパスを訪問しました。大学内の様々な施設を見学し、実験も行っていると感じ、向学精神に火が付いたかもしれません。

声

子どもたちの



- ☆ アユはぬるぬるして、動きも速くつかみにくかった。焼いて食べたらとてもおいしかった。
- ☆ ハンモックやブランコでとても楽しかった。保育所ではできなかったことが、1年生になってできるようになっていた。うれしかった。
- ☆ 地域のおじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらい、いろいろ体験できて良かった。
- ☆ 県大に行っている見学でき、実験も体験できて良かった。

声

先生・地域の



- 学校の近くに自然探索ができる場所があるのはありがたい。
- 地域の人との交流は、とても貴重な体験になる。
- 地域とのつながりを持つことで、これが成長の一助になれば…。
- 将来地域を盛り上げようと思ってくれればありがたい。